

4. 地域薬学人材養成教育拠点形成プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2018年（平成30年）度】

<岡山大学>

○ 石巻地区被災地医療研修（*）

- ・学部生を対象として、災害時医療及び災害時における地域の医薬品供給体制や医療救護体制を学び薬剤師等の役割を理解することを目的として、石巻赤十字病院において東日本大震災の現状とその対応について確認・体験学習・討議を行った。
- ・震災前と全く光景が変わった被災地の見学により津波の恐ろしさを体感できた。モバイルファーマシーの前身となった移動薬局の結成、医薬品の供給、在庫管理等に薬剤師が活躍できることや、地域における医療連携体制、多職種間における患者情報の共有について学ぶことができた。

◇ 参加人数：6年次生1名、教員1名

○ 川崎医大現代医学教育博物館見学及び倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流（*）

- ・学部生を対象として、人体及び疾病について広く深い学習の場の見学により医療人としての自覚を促すと共に本学薬学部学生の備えるべき教養と人間性を涵養することを目的として、川崎医大現代医学教育博物館の見学と、倉敷芸術科学大学芸術学部学生との交流を実施した。
- ・薬学部学生にとって医療人としての自覚を促す観点からも重要な機会となり、また医学薬学の世界と違う形での創造性に富む意欲的な作品に触れ刺激を受けることで、薬学部学生の備えるべき教養と人間性の涵養の機会となった。

◇ 参加人数：学部生8名、教員4名